

中小企業等特許情報分析活用支援事業（2020年度）



- 特許情報分析に基づいて、無駄な研究開発投資を回避する研究開発戦略やオープン・クローズ戦略を策定することにより、個々の中小企業等における効果的な権利化等の知財活用を実現。
- 支援を通じて得られた活用事例の公表等を通じて、特許情報分析の有用性を普及・啓発。

※本事業は特許庁が2015年度から開始し、2017年度よりINPITに移管されたもの。

支援策の概要（委託先：一般社団法人 発明推進協会）

中小企業等の費用負担が重い先行技術調査について、各段階（右図）のニーズに応じた包括的な先行技術調査を支援し、効果的な権利化等の知財活用が実現。

①「事業構想～研究開発」「出願」段階（2020fy支援予定：100件）

- ✓ 特許マップ等の作成及び企業訪問を通じた特許情報分析活用支援
- ✓ 利用者自己負担無し（1件あたり100万円を上限）
- ✓ 公募スケジュール（各回20件程度採択予定）※2019fy実績：89件
 - 第1回公募：2020年 2月 6日 ～ 3月31日【終了】
 - 第2回公募：2020年 4月 1日 ～ 5月27日【終了】
 - 第3回公募：2020年 5月28日 ～ 7月8日【終了】
 - 第4回公募：2020年 7月 9日 ～ 9月2日【受付中】
 - 第5回公募：2020年 9月初旬 ～ 10月中旬

...

②「審査請求前」段階（2020fy支援予定：100件）

- ✓ 特許出願したものについて先行技術調査報告書を提供
- ✓ 最低1万円の利用者自己負担有り（必須となる国内特許文献調査は各社7万円。外国文献等をオプションで追加可能）
- ✓ 申込受付スケジュール ※2019fy実績：46件
5月27日より受付中（先着順）

包括的な先行技術調査

事業構想～研究開発段階

新分野への進出、新製品の開発を目指す中小企業等の研究開発戦略の作成を支援。

⇒ 効果的な研究開発投資を促進。

出願段階

中小企業に対するオープン・クローズ戦略の策定等、出願戦略の策定を支援。

⇒ 強い権利の取得、権利化可能性の向上。

審査請求段階

公開特許文献等の調査を通じ、中小企業等の権利取得判断を支援。

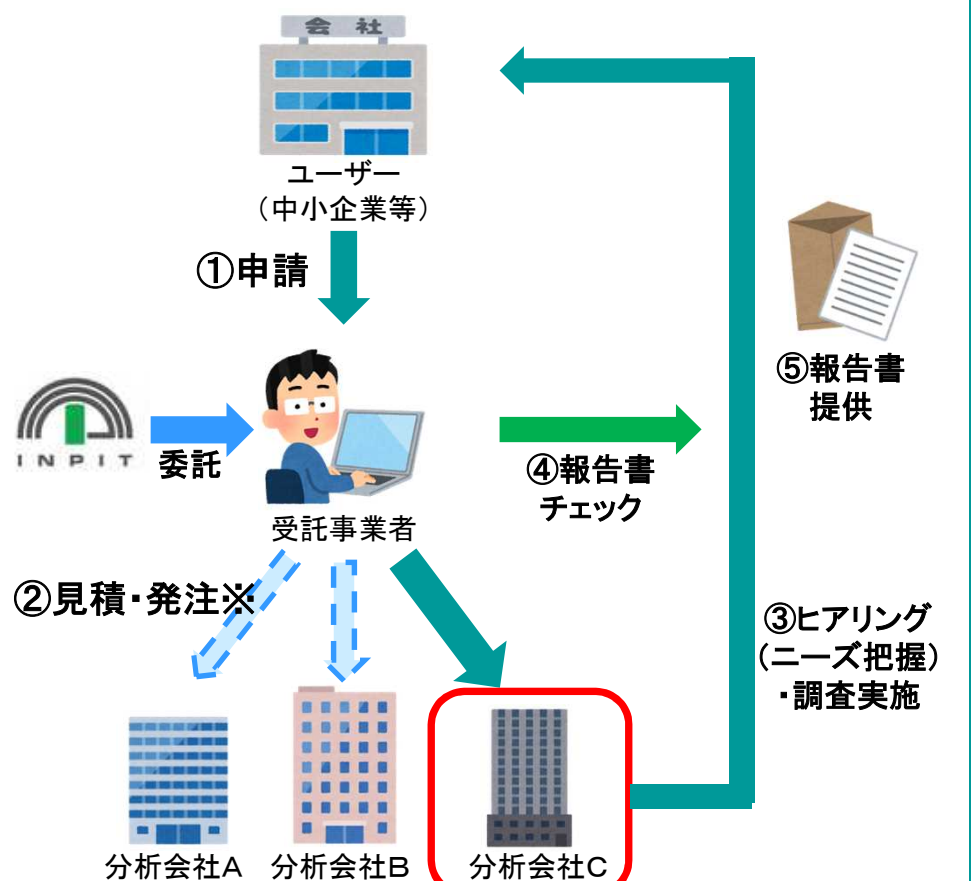
⇒ 効果的な権利取得の促進。

特許情報分析活用支援事業の実施フロー

本事業への応募方法や採択基準などについて、
ウェブページで詳細をご案内しております。

<https://ip-bunseki.inpit.go.jp/>

①「事業構想～研究開発」、「出願」段階



※3社以上から最も安価な分析会社に発注

②「審査請求前」段階

